



令和2年4月13日

高松市議会議長殿

氏名 大西 智



政務活動費收支報告書

高松市議会政務活動費の交付に関する条例第6条により、次のとおり令和元年度の交付に係る政務活動費の収支を報告します。

1 収入 1,200,000 円

2 支出 1,107,249 円

支出の内訳

(単位:円)

経費の区分	金額	摘要
1. 調査研究費	48,255円	内訳別紙のとおり
2. 研修費	46,100円	"
3. 広報費	840,706円	"
7. 資料作成費	37,142円	"
8. 資料購入費	135,046円	"

3 残額 92,751 円

注

- 「経費の区分」欄には高松市議会政務活動費の交付に関する条例施行規則別表の左欄に掲げる経費の区分を、「金額」欄には当該経費に充てた金額の総額を、「摘要」欄には当該経費の区分における支出の内訳について同表の右欄に掲げる費用ごとの金額を、それぞれ記入すること。
- この報告書には、領収書等の証明書類の写しを添付すること。

## 政務活動費 金銭内訳表

高松市議会議員

大西 智

項目	内訳	金額(円)	項目	内訳	金額(円)
1 調査研究費	1 交通費	43,972	6 会議費	1 会場借上げ料	
	2 宿泊費			2 出席者負担金	
	3 委託料			3 会費	
	4 その他の費用	4,283		4 交通費	
2 研修費	1 会場借上げ料		7 資料作成費	5 宿泊費	
	2 講師謝金			6 その他の費用	
	3 出席者負担金			1 印刷製本費	
	4 会費			2 委託料	
	5 交通費	46,100		3 事務用品購入費	26,515
	6 宿泊費			4 事務機器賃借料	10,627
	7 その他の費用			5 その他の費用	
3 広報費	1 広報紙等印刷費	325,044	8 資料購入費	1 図書購入費	69,646
	2 広報紙等送料	201,466		2 資料等購入費	65,400
	3 会場借上げ料			3 その他の費用	
	4 湯茶代		9 人件費	1 給料	
	5 その他の費用	314,196		2 賃金	
4 広聴費	1 会場借上げ料			3 労働保険等保険料	
	2 印刷費			4 その他の費用	
	3 湯茶代		10 事務所費	1 賃借料	
	4 その他の費用			2 維持管理費	
5 要請・陳情活動費	1 交通費			3 備品購入費	
	2 宿泊費			4 事務用品購入費	
	3 その他の費用			5 事務機器賃借料	
				6 その他の費用	

## 政務活動費（市民74-7421共通分） 金銭内訳票

高松市議会議員 大西 哲

項 目	内 訳	金額(円)	摘要(円)
1 調査研究費	4 その他の費用	4,283	インターネット接続料
2 研修費	2 講師謝金		
	1 広報紙等印刷費		
3 広報費	2 広報紙等送付料		
	5 その他の費用		
	1 会場借り上げ料		
4 広聴費	3 揚茶代		
	4 その他の費用		
	3 事務用品購入費	26,515	トナーカートリッジ代・廃トナーボックス代・パソコンルーター代
7 資料作成費	4 事務機器賃借料	10,627	
8 資料購入費	1 図書購入費	65,686	新聞代・ゼンリン住宅地図代等

支出合計 107,111 円

政務活動費領収書等添付用紙

使途項目	1 — (1)	領収書総額	43,972円
使途内容	調査研究費 - 交通費	按 分 単	/
		政務活動費 支 出 額	43,972円
備 考	佐賀市「佐賀市のインバウンド観光について」視察(1/23) やまき海運株式会社「海上観光の取組について」視察(1/24) 交通費・宿泊費(食事代除く)		
(領収書等貼付欄)			

領 収 証

No. 020834

大西 智 殿

金	千	百	十	千	百	十
			4	3	9	7
			2			

印  
紙

但し、この領収書は本件の取扱い上  
行政機関にて  
行政機関にて

毎度お引立を賜わり有難うございます  
上記の通り正に領収致しました

令和3年2月3日

株式会社 大川観光

日本 社 高 松 市 丸 の 内 5-5  
電 話 (087) 851-0681

□長尾曾路 香川県さぬき市長尾西1061  
電 話 (0879) 52-2521



## 政務活動記録票

氏名 大西 智

年月日	令和2年1月23日(木) 24日(金)
場所	① 佐賀市役所 観光振興課(佐賀市栄町1-1) ② やまさ運輸株式会社(長崎市元船町17-3 長崎港ターミナルビル)
相手方	① 佐賀市 観光振興課 観光・コンベンション推進室 ② やまさ運輸株式会社 旅客船事業部
目的・内容・結果等	<p>佐賀市が実施している「インバウンド観光について」および長崎市の民間企業(やまさ海運株式会社)が実施している「海上観光の取り組みについて」、調査および意見聴取を行った。</p> <p><b>&lt;目的&gt;</b></p> <p>本市は第6次高松市総合計画のもと、「活力にあふれ 創造性豊かな瀬戸の都・高松」の実現を目指して取り組みを進めている。</p> <p>総合計画の施策方針の一つである、「産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち ~訪れたくなる観光・MICE(マイス)の振興~」では、観光客受入環境の整備として、旅行者が、魅力あるイベントに接するとともに、安心して快適に、移動・滞在・観光することができるユニバーサルツーリズムに対応した受入環境を整備することとしている。</p> <p>また、観光客誘致の推進として、本市の観光都市としてのブランドイメージを向上させるとともに、文化芸術や瀬戸内海の多島美などの魅力を発信することにより、観光客を誘致するともしている。</p> <p>これら施策を実現していくには、官民を問わず、先進的な取組みにより成果を出している先進地に学ぶことが有意義であることから、「佐賀市のインバウンド観光について」と、民間企業(やまさ海運株式会社)が実施する「海上観光の取り組みについて」視察を行い、その取組みや成果を学び、本市施策に反映する。</p> <p><b>&lt;調査事項&gt;</b></p> <p>1. 「佐賀市のインバウンド観光について」</p> <p>○佐賀市の概要</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・佐賀市は、平成17年、平成19年の2回の合併をへて、人口232,484人(令和元年12月現在)、面積431.84㎢、予算規模は984億円(平成31年度一般会計当初予算)である。</li><li>・市域は南北に長く、北部が県庁所在地としては珍しく他県(福岡県)と隣接している。</li><li>・北部は、「脊振山系の山ろく部の山林や清流」があり、澄んだ空気・木と山の「三瀬高原」、癒しのぬる湯「古湯・熊の川温泉」を有している。</li></ul>

- ・南部は、「筑後川にかかる界隈橋や佐賀平野に広がるクリークや田園風景」、「豊饒の海といわれる有明海」があり、世界文化遺産「三重津海軍所跡」、ラムサール条約湿地「東よか干潟」を有しているなど素晴らしい環境に恵まれている。
- ・佐賀が誇る「一番」「〇〇初」として、「海苔の生産量、日本一」「恵比須さんの数、日本一」「日本初の、バルーンミュージアム」「日本発の、ごみ焼却のCCU（CCUとは、Carbon dioxide Capture and Utilization の略であり、二酸化炭素の分離回収による利活用を意味する）」、「アジア最大の熱気球国際大会、佐賀インターナショナルバルーンフェスタ」などがある。
- ・現在、第二次佐賀市総合計画において、「豊かな自然と こどもの笑顔が輝くまち さが」を目指して取り組みを進めている。

#### ○佐賀市の観光PR動画

- ・2017年9月から観光プロモーション動画を公開しこれまでに延べ2,000万回再生を記録している。
- ・福岡市などの大都市の観光というより、自然や歴史・文化によりゆったりと佐賀を過ごしてもらうことをテーマに作成し、YouTubeで配信している。

#### ○デジタルマーケティングの取組

- ・デジタルマーケティングの手法を活用して、「観光客の行動に沿うように、インターネット上の導線を構築」や「効果的な情報発信の実施・検証（国籍、性別、年齢、関心など）」を行っている。
- ・旅行の＜前＞＜中＞＜後＞の期間について、＜前＞では、「①認知」「②検討」「③予約」とし、＜中＞では「④旅行」、＜後＞では「⑤思い出の共有」と分類し、それぞれの期間におけるコンテンツとして、「①ディスプレイ広告」「②特設ウェブサイト」「③旅行予約サイト」「④実際の来訪」「⑤SNS」を活用。
- ・効果測定指標についても、「①動画視聴数等」「②サイトアクセス数」「③アクセス数」「④現地調査」「⑤投稿数」を活用。
- ・「効果的な情報発信の実施・検証（国籍、性別、年齢、関心など）」を行っている。
- ・これまでの取組として県の1/2補助を活用し、H29年度には「認知度向上・見込み客の確保」、H30年度には「見込み客への訴求深耕」を実施。また、H31年度には「新たな顧客層の掘り起こし」を実施。
- ・「実地調査による動画の効果測定」では、アンケート調査の結果「動画を見たことがある人 23.7%」、「うち動画を視聴して佐賀に行きたくなった人 94.8%」となっている。

#### ○佐賀市のインバウンド観光について

- ・「過去5年間の佐賀県および佐賀市の入り込み観光客数」は、佐賀県ではH27の20,223千人、佐賀市ではH28の6,264千人が最も多く、佐賀市は県全体の3割程度を占めている。
- ・「過去5年間の佐賀県および佐賀市の海外旅行者数」は、県全体では6.9倍の38.5万人と大きく伸びており、佐賀市に内でも5.6倍の7.1万人と堅調に増加し続けている。
- ・「佐賀市の海外旅行者の宿泊数」は、H30年の総数が64.1万人のうち、外国人宿泊者数は8.0万人であり、H24年の国際線就航開始以降、増加傾向にある。

- ・国籍別では東アジア（中国・韓国・台湾・香港）が大半を占める。
- ・「タイ国からの旅行者に特徴」として、佐賀県によるドラマロケ誘致活動による誘客効果が高く、舞台となった祐徳稻荷神社（鹿児島市）が人気であり、福岡空港から入国し佐賀を周遊する団体旅行が大部分を占める。
- ・海外市場における旅行動態の変化として、団体旅行から個人旅行へ変化しているとともに、インターネット予約が増加しており、インターネット上で一般消費者に対して直接佐賀の情報を届けることが必要である。
- ・「タイ国国際旅行フェアなどの誘致営業活動について」は、佐賀県・佐賀市観光連盟と連携して実施し、「インフルエンサーの招へい」や「タイドラマ俳優のおもてなしモニターツアーの実施」など独自の取組にも挑戦している。
- ・「福岡県や長崎県など他県との観光施策連携について」、福岡県の「筑後川昇開橋維持管理事業」や、長崎県の「シエガーロード連絡協議会」とも連携をし、イベントや事業を展開している。
- ・「佐賀市が出資した観光外郭団体について」は、一般社団法人 佐賀市観光協会へ運営及び事業補助金交付により支援し、「観光交流プラザの運営」、パンフレット・SNSによる観光情報発信、地域イベント、観光キャンペーンなどを支援している。
- ・「電子決済制度試行における利用実績と運用経費、今後の方向性」は、令和元年6月より、佐賀市観光協会電子決済サイト「さがたび」の試験運用を開始し、協会会員および提携事業者が提供する旅行商品やイベント等への参加券等を販売している。

### ＜結果・考察＞

佐賀県および佐賀市のインバウンド観光は、過去5年で「県・6.9倍」「市・5.6倍」と大きく増加している。

その背景には、「地域が持つ特徴や価値」を理解し活かしていること、また、デジタルマーケティングなどに取り組み、効果的な情報発信の実施・検証を行うことで、観光ニーズに沿った施策を戦略的に行っていっていることが成果として表れていると言える。

地域が持つ特徴や価値を理解することは、「強み」「弱み」を知り、戦略的な施策につなぐことが出来るとともに、シビックプライドの醸成にもつながる。

またデジタルマーケティングの取組では、観光客の行動に沿った取組や効果測定が可能であること、国籍・性別・年齢・関心など、必要とする項目やポイント別の傾向や動向を知ることができるなど、更なる施策を戦略的に実施することが可能となる。

また、観光施策には、官民など様々な関係個所の協力連携により大きな効果や成果が期待できることから、他県他市も含め連携を強化していくことが有効である。

加えて、施策実施の要となる民間団体に対しても、ニーズに沿った適切な支援を行うことで、官民が一体となつた観光振興につながり、結果が成果とし表れているものと思われる。

## <調査事項>

### 2. 民間企業（やまさ海運株式会社）が実施する「海上観光の取り組みについて」

#### ○軍艦島の商品化に向けたアプローチの概要

軍艦島再生プロジェクトのスタートは、長崎県全般にわたる観光活性化の一環の中、九州運輸局長崎運輸支局から提案された「ぶらりながさき小旅行委員会」が発足した2003年まで遡る。

当時、やまさ海運は長崎半島地域の「海の路」開発事業の指名を請け「長崎～軍艦島沖～野母先航路」の新規航路を開発し、運航を開始。

ただし、軍艦島を地元の貴重な観光資源だと考え、何かを商品化できないかと構想を練っていたのは、それ以降で、1997年には既に、「長崎みなとめぐり・軍艦島周遊クルーズ」遊覧船の運行を開始。

その背景には、バブル崩壊後の景気悪化の影響受け、県内の観光事業が相次いで廃止されたということがあり、長崎の観光業にとって、次の一手が必要とされていた。

そこで、世界的にも稀にみるこの「人工島」にいち早く着目をしていたことが、後の商品化に繋がる。

#### ○クルーズ観光の経緯

- ・平成9年より運行を開始。
- ・開始あたり、19t型の小型の高速船をJR TTの共有船で購入。
- ・当初は乗客にかなり苦戦。
- ・観光庁が平成15年に発足したが、それ以前に当時の小泉首相より「長崎は官公庁もあり、また、観光素材も多いことから、海の観光など様々な観光の掘り起こしを行い、観光振興に取り組みなさい」との導きを頂いた。
- ・その考えに沿って、少しづつ事業を展開し現在に至っている。
- ・平成15年に、長崎港から軍艦島沖の野母沙崎航路への新しい航路を開拓。
- ・航路開設への流れは、観光庁の発足に伴い、長崎運輸局支局長の旗振りのもと「地域公共交通活性化プログラム」の取組として「ぶらり長崎小旅行委員会」が立ち上がる。
- ・委員会には、長崎の観光ホテルや旅行会社、公共交通事業者、韓道機関などあらゆる関係機関・団体から委員を選出。
- ・当社は、平成8年頃から海の観光を開始していたことから、長崎半島地域の観光開発、「海の路」づくりを担当し、長崎港から軍艦島沖の野母沙崎航路を開設。
- ・平成15年に開設し、平成16年から運行開始。
- ・当該事業が、東京の大新聞2紙の一面トップに取り上げられ、マスメディアから火が付き、長崎の島を知ってもらう契機となった。
- ・その後の輸送需要は、年間数百人の規模から平成18年には1万人を突破。
- ・平成19年には、当時の長崎市長から軍艦島への上陸観光の事業が提案され、平成20年に予算化、平成21年4月より上陸観光を開始。
- ・上陸観光の開始により1万人程度の乗客数が、5万人を超える事業に成長。

## ○利用者の推移

- ・平成 27 年に軍艦島（爐島炭鉱）を含む「明治日本の産業革命遺産」が「世界文化遺産」に登録され、乗船客数 5 万人程度から約倍の需要増となった。
- ・長崎の観光振興に対してもいい結果に繋がった。
- ・平成 30 年、令和元年における需要の落ち込みの要因は台風災害であり、その影響により、「上陸コース」の運行が出来なくなつたため。
- ・台風災害は死活問題となっており、需要の変動に大きく影響しており、市当局への応援依頼を行っている。
- ・軍艦島に関するクルーズは全部で 5 社において運行しており、5 社における輸送実績のピークは平成 29 年の約 29 万人である。

## ○長崎港内周遊におけるコース選定やガイドの研修など事前の OJT について

- ・経済産業省の「地域資源活用プログラム」を活用し、「長崎台場跡・魚見岳台場跡、長崎台場跡四郎ヶ島台場跡、小菅修船場跡、グラバー園」を地域資源として活用した、「明治日本の産業革命遺産群」と「長崎台場跡」を活用した、観光丸によるヘリテージツーリズム商品の開発と販路開拓」をテーマに商品化。
- ・「事業概要（新たな活用の視点）」「売れる商品づくり（競争力、市場性、販路）」「地域資源における関係事業者との連携」の 3 つの大きな項目により事業計画を策定し、新たな観光商品として販路開拓に努めている。
- ・重要な点として「高度な専門的な技術を持った優良なガイドの養成」があり、経済産業省の補助金プログラムを活用し、1 年目には日本人向けのガイド養成を行い、2 年目には英語の専門ガイドの養成を行い、現在、この 2 種類のガイドを活用してクルーズを行っている。
- ・売れる商品づくりについては、「競争力」「市場性」「販路」3 つのポイントで分析を行い、商品づくりをしている。
- ・当社の商品も観光丸の商品も、地域資源を活用しており、新たな商品を開発する際には、地域資源を活用することがアプローチの一つの方法である。
- ・経済産業省では、地域資源がない場合にも、県や市の取り組みの中で登録が可能であり、今後は事業者ベースではなく、地域公共団体の指導の下行われる観光開発プログラムが重要視されている。
- ・地域には、「経済産業局」や「中小企業整備支援機構」などの経済産業省管轄の団体があり専門家も多いことから、問い合わせや活用することをお勧めする。
- ・観光開発には、開発にも時間がかかり、成果を出すにも時間がかかることから、継続していく上で様々な関連機関の協力を受けることで商品化ができた。
- ・地域全体を巻き込んだ組織体制により商品化を進めている。

## ○今後の企画について（ナイトクルーズなど）

- ・昨年の 10 月に、観光庁が取り組む「Your Japan 2020」キャンペーンの案内があり「観光丸クルーズ」の申し込みを行った結果、採択された。
- ・内容は「長崎みなとめぐり遊覧船（ワールドヘリテージクルーズ）2020 水曜日限定スペシャルプラン」として、水曜日は外国人のお客さまのみ乗船できる特別なプログラムを作成し、誘客活動の促進にむけ取り組みを進めている。

・ナイトクルーズは課題の一つであり、観光丸を活用したナイトクルーズにも取り組んでいく考えである。

#### ＜結果・考察＞

長崎市では、過去から「稲佐山からの夜景」、「グラバー園」「長崎原爆資料館」など、地域の観光資源を活かした振興が盛んであるが、バブル崩壊により大きく落ち込んでいた観光需要が、直近 10 年で長崎市内を訪れる観光客の延べ人数が H21 の 559 万人から H30 には 1,045 万人と倍増しており、観光消費額も H21 の 831 億円から H30 には 1,497 億円と大きな伸びを示している。

中でも「海上観光」に対する需要の伸びも大きく、やまさ海運株式会社の実績でみると、平成 9 年の運行開始当初の年間数百人規模から、平成 18 年には 1 万人を突破し、現在では 5 万人規模にまで成長している。

その背景には、平成 15 年に観光庁が発足し、長崎運輸局支局長の旗振りのもと「地域公共交通活性化プログラム」の取組として「ぶらり長崎小旅行委員会」が立ちあがり、「海の路」として長崎港から軍艦島沖の野母沙崎航路への新しい航路を開拓し、平成 16 年から運行を開始したことがあり、その結果、乗客数が年間数百人程度から、1 万人を超えるほどに成長している。

また、平成 19 年には当時の長崎市長から軍艦島への上陸観光の事業が提案され、平成 20 年に予算化、平成 21 年 4 月より上陸観光を開始したことにより 1 万人程度の乗客数が、現在では 5 万人を超える事業に成長している。

加えて、平成 27 年に軍艦島（端島炭鉱）を含む「明治日本の産業革命遺産」が「世界文化遺産」に登録されたことにより、5 万人程度から約倍の需要増となっている。

これらのことから、観光振興には、開発に時間がかかり、成果を出すにも時間がかかることから、継続していくことが重要であり、その為には官民間わず広く関連機関の連携と協力が必要といえる。

また、観光開発をする上で、関係省庁や機関のプログラムを活用することは、非常に有効であることから、積極的な情報収集と、活用が必要であるといえる。

## 政務活動費領収書等添付用紙

使途項目	2 — (5)	領収書総額	46,100円
使途内容	研修費 — 交通費	按 分 率	/
		政務活動費 支 出 額	46,100円
備 考	「第15回地域医療政策セミナー(11/1)」 交通費・宿泊費（宿泊バック・食事なし） (領収書等貼付欄)		

## 領 収 書

発行 No.JJP0000688844

表示日： 2019年10月01日

下記、正に領収いたしました。

宛名 大西 智様

金額 ￥46,100—  
※但し、航空券代・宿泊代等として（クレジットカード決済）

予約番号 JJP2A3PLV4

旅行期間 2019年11月01日 ~ 2019年11月02日

決済日 2019年10月01日

※本紙は電子的に保持している領収データを画面表示したものです。

 RECRUIT

株式会社 リクルート

〒100-6040  
東京都千代田区丸の内1-9-2 グラントワコウタワスクエア



## 政務活動記録票

氏名 大西 智

年月日	令和元年11月1日(金)
場所	東京都千代田区平河町2-4-1 都市センターホテル
相手方	全国自治体病院経営都市議会協議会 主催 「第15回地域医療政策セミナー」を受講
目的・内容 ・結果等	<p><b>&lt;目的&gt;</b></p> <p>自治体病院は、公的医療機関でなければ対応することが困難である、多くの不採算部門を担っているとともに、地域の医療の中核として社会的使命を果たしている。</p> <p>しかしながら、自治体病院を取り巻く環境は、深刻化する医師不足や医師の地域偏在、診療科偏在などにより非常に厳しい状況である。</p> <p>本格的な人口現状、少子超高齢社会においても、地域に必要とされる良質な医療を継続的に提供して行くには、自治体病院の経営安定化を推進する必要がある。</p> <p>困難な課題が山積する状況を踏まえ、病院経営の健全化をはじめ地域における医療提供体制の確保・充実に向けた取組を学び、課題解決に繋げていくことを目的に本セミナーを受講した。</p> <p><b>&lt;講演&gt;</b></p> <p>演題：「”患者流出&gt;流入”医療圏におけるイノベーション～目指すべき方向の明確化とPFIの活用～」</p> <p>講師：八尾市立病院 総長 星田 四郎 氏</p> <p>◆内 容</p> <p>○八尾市民病院経営・運営状況</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・平成23年度決算において平成16年5月の新病院開院後において初の単独黒字を達成し、以降8年間連続で黒字決算。</li> <li>・平成30年6月に、総務大臣より経営努力がなされた結果、経営の健全性は確保されていること及び地域医療の確保に重要な役割を果たしているなどの一定の基準を満たした自治体立の病院を表彰する「自治体立優良病院表彰」を受賞。</li> <li>・平成16年の新病院開院にあわせて日本で最初にPFI方式での病院経営を導入し、一期15年で現在2期目。</li> <li>・新病院開院に合わせたPFIの導入や、手書きカルテの電子化の実施には、「事務局の総合力」が必要。</li> <li>・開院より7年間は約20億円/年の減価償却の影響等により赤字であったが、以降黒字を維持。</li> <li>・病院経営では、営業収支・経常収支による「赤字」「黒字」だけでは測れず、「剰余金」「キャッシュフロー」等の会計状況の理解が必要。</li> </ul>

- ・診療の成績と收支が必ずしも一致しないため、数字も重要であるが、何より診療成績等の中身が重要。
- ・病床稼働率や平均在院日数等の診療成績についても、各病院で患者の疾病状況が異なるため一概に比較はできない。
- ・病床稼働率の上昇し平均在院日数の減少することは、職員の負担が増加することであり、職員数を増やすなければ行院経営が成り立たないことに対する、市当局や議会への理解を得ることも必要。
- ・病院経営では、外来診療単価、入院診療単価を高めることが求められるが、市民にとっては負担の増加となる。
- ・市民への貢献で重要なのは、病院を安定して経営し持続させることであることへの理解を得ることが必要。
- ・病院運営の要である医療スタッフにモチベーションを持ち続けてしっかりと働いてもらうことが重要。
- ・医師数については増加させてくることができたが、正規の医師数は増やしておらず、嘱託の医師を増やしてきた。そのため、法改正に伴う会計年度任用職員への対応が求められている。
- ・高度医療機器の整備に対して、資本投下、設備投資を行っていかないと周囲からは離れていく。新しい機器や技術を導入していくことで維持することができる。

#### ○大阪府及び中河内二次医療圏の特徴

- ・大阪府は、8つの二次医療圏からなる。
- ・大阪府内の公立病院は23院あり、府立と大阪市立は独立法人化しており、その他の病院についても、比較的大きい病院は独立法人化している。
- ・中小病院の大部分は、地方公営企業法の全部適用であり、2院では指定管理を実施。
- ・民間病院が非常に強い大阪の医療圏において、公立病院を維持するためにしのぎを削っている。
- ・中河内二次医療圏は、大阪市内に電車で5分とアクセスが良いことから、大病院の多い大阪市圏域へ患者が流失をしているため、流出の減少が課題である。

#### ○進むべき方向性を明確化した病院経営

##### <急性期医療>

- ・病院経営を成り立てる上で必須となる加算があり、急性期医療を行う当院では「総合入院体制加算」がその一つであり平成22年に取得。
- ・現在は、もう一段上の「総合入院体制加算2」を目指している。
- ・同じ診療でも収入が異なるため、取れる加算は取りにいかなければならぬ。
- ・病院経営において、何を押さえなければいけないかを明確にしなければならない。
- ・当院では、循環器急性疾患への対応が弱く、他院に患者が流出していたため体制を強化。
- ・急性期病院は生活習慣病対策も求められ、公立病院の責務として当院では糖尿病センターを設置し、市民が人工透析に至らないよう政策的に推進したことで、循環器の収入が増加。
- ・循環器診療のメリットは診療単価が高いことで、デメリットは償還材料が多く必要

であり支出が多いこと。

- ・循環器疾患への対応を充実することで、病院全体のアクティビティが充実し、結果、選ばれる病院となる。
- ・病院経営には全体の底上げを行うことと、手術数を増やすことの両方が必要。

#### <政策医療—周産期医療>

- ・政策医療において、周産期医療も重要であり、産婦人科ではハイリスク分娩も増やさなければならないため、赤字とはなるがNICUを設置。
- ・産婦人科医10人で年間約800の分娩を行い、市内の3分の1を担っている。
- ・周産期医療における小児科にも多くの課題。
- ・特定入院科算定病棟（小児入院医療管理科2）を取得し10人の産婦人科医があるが全く足りていない。
- ・核家族化による影響の課題もあり、十数年前は産婦人科病床が不足し他病棟に借りていたのが、現在では、入院期間を極力短期にしたいというニーズにより、入院期間が2、3日程度となっているため、40床あるベッドのうち少ない時は3、4人床しか稼働していない。
- ・小児医療の提供体制を確保しつつ、急性期疾患対応を充実させ、周産期医療を重視しつつ地域の医療情勢に柔軟に対応。

#### <政策医療—地域医療>

- ・政策医療の地域医療では、地域医療支援病院の承認が必要。
- ・紹介・逆紹介の活性化のため地域医療連携室を設置し、中央受付に大きな窓口を設け「かかりつけ医との連携・機能分化」をアピール。
- ・地域医療連携室の特徴として、「前方（紹介）」と「後方（逆紹介）」と一緒にし、紹介状受付業務だけでなく「広報担当者」を配置し積極的な地域連携を実施。
- ・救急医療では、八尾市における長年の懸念であったため、「断らない救急」の方針の浸透をはかり救急搬送患者を積極的に受入。
- ・軽症者の搬送、コンビニ救急が多いのが課題であるが、「まず見る」ことで救急隊との信頼関係を構築。

#### <がん診療>

- ・「がん診療の推進」「チーム医療の強化」など、様々な取り組みの結果、平成27年4月から「地域がん診療連携拠点病院」となる。
- ・二次医療圏にはすでに指定病院があり、1つの医療圏に2ヵ所目の指定を受けるのは極めてレアケース。
- ・国指定の要件を充実させつつ、がん診療の実績向上に取り組んできた結果が評価。
- ・がん治療は手術だけでなく、「手術」「放射線治療」「化学療法」「緩和」の4つの柱がある。
- ・「化学療法」は費用をかけても必要。
- ・「化学療法」はがん治療の7割で実施しており、単価は高いが優秀な治療であり、ひとつめの売りにもなる。
- ・病院は良い医者をどれだけ探してこれるかが大きな要素であり、高額な医療機器で

ある「ダビンチ」や「リニアック」を導入し、医者のモチベーションを保つことも重要。

- ・2人に1人ががんに罹患する時代に合わせて政策的に進めることが重要。

#### ○イノベーションを推進する重要項目

##### <経営を考えるには「DPCを理解する」>

- ・病院経営を考えるうえでは、診療報酬体系であるDPCの理解が必要。
- ・DPCは全国の病院から集めたビッグデータをもとに、標準的な治療内容・医療資源・在院日数をもとにコード分類・報酬設定をしたもの。
- ・全国標準と自病院との比較、及び目標としたい病院・病院群とのベンチマーク比較からの改善は、論理的かつ有効なものとして着目。
- ・自院の特徴を知るにはDPCを知ることが一番。
- ・月1回「DPC・コーディング委員会」を開催し、ベンチマークデータ、分析ソフト等の活用により様々な取組を地道に推進。

##### <チーム医療の推進>

- ・平成21年度よりサービス向上・業務改善を目的としたTQM（トータル・クオリティ・マネジメント）活動を導入。
- ・TQM活動実行委員会を設置し、委員長（院長）をはじめ、看護部長・事務局長・SPC-GMといった各部局の責任者が参画。
- ・PF1事業者側の参画チームも増え、平成30年度には半数がPF1事業者チームとなり、公民の垣根なく病院全体で取り組んでいる。
- ・年に一度活動発表会を開催し表彰するなど、モチベーションを保つ取組も実施。

##### <診療情報管理のレベルアップ>

- ・新病院開院時から診療情報管理室を設置し、PF1事業者にて運営（室長は副委員長）。
- ・がん診療拠点病院（府指定）、地域医療支援病院、地域がん診療連携拠点病院（国指定）と、病院機能の充実に伴い、診療情報管理室の体制も強化。
- ・現在では、診療情報管理士4名、事務員3名体制となり、診療管理体制加算1を取得。
- ・データを把握することで、病院経営の改善に反映するとともに、見落としを防止するためのチェック機能として医療の質の向上へ反映。

##### <「広報」の重要性>

- ・地域の医療機関、地域住民との信頼関係を構築するために「広報」を重要視し、「訪問活動」「講演・講座」「情報誌」「ホームページ」等と取組を実施。
- ・市民や議会等に知ってもらい、理解を得ることが重要であり、費用がかかるが注力すべき項目。

#### ○PF1を活用した病院経営

##### <PF1とは>

- ・PF1（パブリック・プライベート・パートナーシップ）とはPPP（パブリック・プライベート・パートナーシップ：公民連携）の一環で、公共事業を民間の資金と経営能力・技術力を活用し実施する手法

の一つ。

- ・平成30年3月末時点で、全国で666件のPFI事業案件があり、うち病院は13件。

#### <八尾市立病院PFI事業の特徴>

- ・多くのPFI事業が「箱物」型といわれる、建物・施設整備は中心のPFI (VFM (Value For Money) が出やすい部分)。病院PFIにおいても、多くは建築を含めてのPFI。
- ・八尾市立病院では「建築」は市が従来の公共事業として行い、「施設の維持管理」と「医療関連サービス等の運営」をPFI事業として行っているのが特徴の1つ。
- ・運営面ではVFMが出にくいくだけでなく、医師・看護師・医療技術者といった医療の専門職とのコミュニケーションが重要となることから、PFI導入の効果を生み出すのは簡単ではない。
- ・運営型のPFIでは、医療の専門職、行政職、PFI事業者の考え方や常識が異なることから、コミュニケーションを図ることが重要。

#### <VFM (Value For Money)>

- ・VFMは支払い (Money) に対して最も価格の高いサービス (Value) を提供するという考え方。
- ・従来方式によるPSC (Public Sector Comparator : パブリック・セクター・コンパレーター : 公共が自ら実施する場合の事業期間全体を通じた公的財政負担の見込額の現在価値) とPFIを比較して、総事業費を削減できる割合を数値で示す。
- ・運営型のPFIは建築が含まれないため、一般的にVFM効果は出にくい。
- ・第1期事業では試算時に直接業務も残っているため、PFI導入試算におけるVFM効果はある程度見込めるが、第2期事業では既にPFIを行っているためVFM効果を求めること自体が厳しい。

#### <SPC (Special Purpose Company : 特定目的会社)>

- ・SPCは特定業務のためだけに設立する会社であり、八尾医療PFI株式会社は、八尾市立病院の維持管理・運営事業のみを行う目的で設立。
- ・八尾医療PFI株式会社の特徴は、「医療サービス（医療のコア業務）」、「人事・経理・予算管理等（事務管理のコア業務）は公共が担い、「ファシリティマネジメント」「病院運営業務（政令8業務）」「その他病院運営業務」は民間が担う。
- ・八尾医療PFI株式会社の病院への関わり方は、民間が担う部分を担当するとともに、「病院の経営・運営の成功」というミッションを共有し、病院と一体となり病院運営に当たる。
- ・病院はSPCに対して、仕様を発注するのではなく、性能を発注している。

#### <適切なモニタリング>

- ・八尾市立病院では、モニタリング委員会を設置。
- ・病院幹部を委員（SPC職員は含まず）として四半期に一度開催し、毎月開催される事業評価部会の審議結果を踏まえ、PFI事業者によるサービス提供が業務要求水準に達成しているか否かを評価。
- ・業務要求水準を達成している場合は、四半期のサービス対価の支払いを決定。

- ・業務要求水準未達の場合は、減額規定に基づき対価を減額する可能性もあり。
- ・減額に対する異議申立てても可能であるとともに、インセンティブ制度も有する。

#### ◆考察・まとめ

自治体病院は、公的医療機関でなければ対応することが困難である、多くの不採算部門を担うとともに、地域医療の中核として社会的使命を果たさなければならない。

自治体病院による市民への重要な貢献は、安定した病院経営により地域医療を持続させることである。

不採算部門も含めて安定した病院経営を行うには、各地域（二次医療圏）や病院でことなる情勢を踏まえたうえで、進むべき方向性を明確化し、市民・行政・議会の理解を得るとともに、官民協働のもと必須となる加算を病院スタッフが一体となって取得する必要がある。

市民・行政・議会の理解や官民協働を推進するには、地域医療連携強化に向けた取り組みや広報活動も重要である。

また、経営においてはDPCなどにより自院の特徴を理解したうえで、全体で共通認識を持ち、明確化した進むべき方向にむけて様々な取組を各段なく病院全体で地道に進めなければならない。

医療の高度化が進むなかで、周囲の医療機関から遅れずに高い質の医療を提供するため、医療関係者のモチベーションを保つとともに新たな人材を確保していくためにも、高額な医療機器に対する資本投入も必要となる。

以上のような取組を一体となって進めることで、運営される病院となり、自治体病院としての社会的使命を果たせることを学んだ。

市民の命と安全を守る者として、「地域医療の確保」「地域の社会保障費の適正化」「まちづくり」など、議会が担うべき役割を十分に認識し果たして参りたい。

### 政務活動費領收書等添付用紙

使途項目	3 - (1)	領収書総額	97,200円
使途内容	広報費 - 広報誌等印刷費	按 分 率	/
		政務活動費 支 出 額	97,200円
備 考			



## 政務活動費領収書等添付用紙

使途項目	3 — (1)	領収書総額	14,094円			
使途内容	広報費 - 広報誌等印刷費	按 分 率	/			
		政務活動費 支 出 額	14,094円			
備 考						
(領収書等貼付欄)						
市政レポート<第1回 3月定例会号> 印刷料 7,000部						

2019/8/19

ネット印刷の rakusui | ラクスル | 名刺、チラシ、取扱説明書で印刷

## 領収書



日付: 2019年8月19日

領収書番号: R-1908161575

大西智 様

ラクスル株式会社

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F  
tel: 03-4577-9200 mail: contact@rakusui.com

**¥14,094-**

但し、商品代として  
上記合計を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
1908161575-01	(市政レポート2019年3月) 折りパンフレット、外3つ折り、内割れ防止加工なし、A4の1/3仕上がり、片面カラー、光沢紙、薄手： 50kg	7,000部	受付日確定後 8日以内	¥13,050

注文内容:	商品:	¥13,050
注文合計:		¥13,050
消費税:		¥1,044
ご請求合計金額:		¥14,094
お支払い方法:		銀行振込

### 政務活動費領収書等添付用紙

使途項目	3 — (1)	領収書総額	21,470円
使途内容	広報費 - 広報誌等印刷費	按 分 率	/
		政務活動費 支 出 額	21,470円
備 考	<p>(領収書等貼付欄) 市政レポート&lt;第3回 6月定例会号&gt; 印刷料 7,000部</p>		

## 領收書



日付: 2019年8月19日  
領收書番号: R-1908161271

大西智 様

ラクスル株式会社

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F  
tel: 03-4577-9200 mail: contact@rakusul.com

**¥21,470-**

但し、商品代として  
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	数量	出荷日	金額
1908161271-01	(市役レポート2019年6月) 折りパンフレット、外3つ折り、背割れ防止加工なし し、A4の1/3仕上がり、両面カラー、光沢紙、薄手： 90kg	10,000部	受付日確定後 8日以内	¥19,880

注文内容:	商品:	¥19,880
注文合計:		¥19,880
消費税:		¥1,590
ご請求合計金額:		¥21,470
お支払い方法:		銀行振込

## 政務活動費領収書等添付用紙

使途項目	3 一 (2)	領収書総額	67,662円
使途内容	広報費－広報誌等送料	按 分 率	/
		政務活動費 支 出 額	67,662円
備 考			

(領収書等貼付欄)

市政レポート<第3回 6月定例会号> 送料(ポスティング) 7,000部

### 受領書並領収書

取扱人名	大西 桂 樹
送達人	株式会社ネットワークシステムズ
発行会社名	ラクスル株式会社
発行日	2019年10月2日
登録番号	F-1-20191002-022856-01
金額	67,662円



「人」が輝き、  
「まち」が輝く  
「輝く創造都市、高松」



# 大西さとし

## 市政レポート

第1回 3月定期会

Tel 090-8696-1730

© 2024 - All Rights Reserved - <https://www.english-test.net>

• 2003



Report  
報告

高松市議会は、3月4日から25日までの22日間の日程で、平成31年第1回定期会（3回議会）を開催し、平成30年度一般会計予算など112議案を可決し、平成30年9月定期会より継続審査としていた工事請負契約の議案と、今期提出された議員提出議案3件をそれぞれ否決としたほか、陳情3件を不採択となり、人事案件6件に同意しました。

消費税率引上げに伴う幼児教育の無償化

本年10月からの消費税率引上げに伴い、  
本年10月から、保育所等を利用する3歳から  
5歳までの児童、及び0歳から2歳まで  
の住民税非課税世帯の児童の利用料を無償  
とする「幼児教育の無償化」が行われます。  
本市では、市単独多子減免事業として、

同時に在園する「第2子」の利用料を無償化(国基準では半額)、同時の在園ではない「第3子以降」の利用料を無償化(国基準では半額)しています。

同時に在園するお年金者か（歳から6歳児内から0歳から2歳児内に見直されるものの（3歳から5歳までが無償化されるため）市単独多子減免事業は存続し、子育て世代支援を行います。

子どもの医療費助成  
通院医療費の無償化を中学校  
卒業まで拡大



#### 本大正解王城の後年の歴史は主に

## ■幼児教育の無標準化の具体的なイメージ(実験結果題を一覧紹介)



私の約束

Plan  
It

現在、本格的な人口減少、少子高齢社会を迎えるなか、持続可能な社会を構築するうえで極めて重要な課題に直面しております。

新たに始まる時代において、「人」が輝き、「まち」が輝く「輝く創造都市、高松」をみなさまと共に創造することで、世の運営を図る所存です。

4つのデータ

- ・子育てしやすい高松、  
子どもが健やかに成長できる高松
  - ・誰もが安全・安心で健康に暮らせる高松
  - ・充実した雇用の高松、若者から選ばれる高松
  - ・活気にあふれ持続可能な高松

津縣取緝事項

- ・健やかにいきいきと暮らせるまち
  - ・妊娠期から子育て期にわたる様々なニーズに対する切れ目ない支援など
  - ・産業の活力と文化の魅力あふれる創造性豊かなまち
  - ・両戸内国際芸術祭(〇一九の開催など)
  - ・県内内海圏の中核都市としてのふさわしいまち
  - ・ここでん新駅整備開通事業の推進など

### 平成31年度当初予算の特色

基础：百万港元		2018财年	2017财年	增减额	增减%
项目	分部	2018财年	2017财年	增减额	增减%
一般运营( A)		151,993	153,200	-1,207	-0.8%
物业租赁(B)		107,309	105,104	2,205	+2.1%
公司层面管理费用		46,405	44,285	1,120	+3.2%
公司层面咨询费用		40,334	41,073	-739	-1.8%
企业费用(C)		5,776	16,398	-10,622	+40.7%
下水道费用		31,302	22,206	+9,096	+41.3%
合共折( A+B+C)		292,280	297,169	-4,889	-1.6%

「人」が輝き、  
「まち」が輝く  
輝く創造都市、高松

# 大西さとし

## 市政レポート 第3回 6月定例会

〒760-0080 高松市本町1849-1-602  
TEL 090-8696-1730

●ホームページ <http://www.ohnishi-satoshi.jp>

●フェイスブック



Report  
報告

高松市議会は、6月24日から9日までの16日間の日程で、令和元年第3回定例会（6月議会）を開催し、令和元年度一般会計予算など16議案を可決し、議員提出議案5件のうち4件を否決、1件を趣意審議としたほか、陳情1件を不採択とし、人事案件4件に同意しました。

### 6月定例会 質問および答弁の概要（抜粋）

#### I 待機児童について

- (1) 高松市子ども・子育て支援推進計画の中間見直し後の実績
- (2) 待機児童解消の目標年度達成見込み
- (3) A.I.での入所選考における申請者の利便性向上と今後の課題
- (4) 来訪が困難な転入者に対する保育所入所手続き支援の考え方

#### II 地方創生について

- (1) 昨年の社会動態に対するどのように受けとめているのか
- (2) 平成30年度の移住相談の状況に対するどのように活用していくのか
- (3) 「瀬戸・たかまつ移住＆キャリアサポートセンター」の成果と今後の取り組み
- (4) 移住やJターン就職の促進に向けて、觀光や帰省時を有効に活用したPR活動の考え方

#### III 学校プールの安全対策について

- (1) 学校プールにおける監視体制、及び救命設備やAEDの設置状況、救命救急講習の受講状況
- (2) 飛び込み、転倒、足裏やけどなどの事故防止対策、及びプールでの熱中症対策



#### I-(2) 抜粋

◎ 本市は昨年3月、「高松市子ども・子育て支援推進計画」の中間見直しを行い、待機児童解消の目標

年次を平成30年度から32年度（令和2年度）に変更をし、取り組みを進めています。国が示す将来的な女性の就業率80%も見越した計画の見直しであるため、着実な実施により早期の待機児童の解消を望むところです。

そこで、待機児童解消の目標年度での達成見込みは、

◎ 本市ではこれまで、本年度当初までの4年間に、待機児童の多い、0～2歳児の定員を、810人程度確保してきたところです。

また、国では企業主導型保育事業により、今年度も更に2万人分を新たに整備することとしています。

さらに、本市が実施している保育士の確保について、私立保育所等に対し更なる周知を図り、利用を促進するなど、受け皿確保と合わせて実施することにより、目標である令和2年度の待機児童解消に取組みます。



#### II-(3) 抜粋

◎ 本市は昨年6月、瀬戸・高松広域連携中枢都市圏域への移住やJターン就職などを促進するため、東京・渋谷に「瀬戸・たか

まつ移住＆キャリアサポートセンター」を開設し、約1年が経過をしました。人口減少の克服と地域活力の向上には、移住やJターン就職などの促進は不可欠であり、同センターへの期待は非常に大きなものとなっています。

そこで、「瀬戸・たかまつ移住＆キャリアサポートセンターでは、3人の移住アドバイザーによる移住相談はもとより、地元企業などの求人情報の提供や就職に関するセミナー等を開催し、参加者は大幅に増加しています。

また、県内出身者の多い都内の大学を訪問し、就職情報や就職相談会の周知を行うなど、大学生のJターン就職等の促進に積極的に取り組んでいます。

これらの取り組みにより、移住後の就労や生活に関する多くの相談が寄せられ、このうち6名が既に本市に移住し就労しているなど、成果が徐々に現れています。

また、今後はセミナー等の内容を更に充実や、若い世代に「就業」や「生活」のしやすさ、といった本市の強みを効果的にアピールする」として、一層の、移住・定住を促進します。



高松市議会において開催する大西議長

裏面もご覧ください。



活動日記 平成31年4月～令和元年7月

## 経済環境常任委員会の所管事務調査 今年度テーマを決定

私が所属しております経済環境常任委員会では、今年度、所管する事務の中で調査を行う所管事務調査のテーマを「戦略的な企業立地推進による地域経済の活性化について」として調査・研究を行うこととしたしました。

テーマの選定理由としては、

- ・人口減少、少子・超高齢社会が到来する中、特に企業を支える人材不足や労働者不足が深刻化しており、若年層の移住定住促進や外国人労働者の受け入れなど、さまざまな施策を実施し、経済の持続的な発展を図る必要がある。
- ・本市では、平成21年度に創設した企業誘致成制度に基づき、市内に立地する企業が一定規模以上の設備投資や新規雇用した場合に助成を行うことで、企業誘致の推進を図ってきたが、この制度が平成30年度末で終了期限であった

ことから、さらに5年間の延長を行い、現在も引き続き、企業誘致・雇用の創出に積極的に取り組んでいます。

- ・企業誘致専門員等の訪問活動による情報収集や誘致活動の取り組みのほか、立地に関する土地利用や建築等についての府内連絡会議を開催し、立地希望企業を対象に、ワンストップサービスの支援を行なうことで、企業誘致・立地の促進を図っている。

そこで、企業誘致専門員や企業誘致助成制度等のさらなる活用を図り、企業情報の収集や発信に努め、雇用の確保を図るとともに、移住者等の雇用や起業支援、さらには、外国人を含めた人材確保策や将来的な税収増にもつながる、本市ならではの「戦略的な企業立地推進による地域経済の活性化」について、調査・研究する必要があることから、当該テーマに決定いたしました。

## 行事・イベント参加



木太町防災訓練



高松市のまつりフラワーフェスティバル＆交通管制フェア2019



四国電力㈱ 第39回 雇用大会



四社協会 昭和元年総会



高松市昭和元年総会開催準備会 令和元年度 総務・総務会



オムカ高松産業振興会 第9回総会



玉藻牛学校 平成31年度 入学式



第4回 木太地区 駐民大運動会



道後春川 第9回メーテー 2019ワーキングフェスティバル



瀬戸内国際体験祭 サンポート西松トライアスロンにて

Colum  
コラム

「マイナポータル」による  
「子育てワンストップサービス」

マイナポータルとは、政府が運営するオンラインサービスです。

子育てに係る行政手続きがワン

ストップでできたり、行政機関か

らのお知らせを確認できたりし

ます。

特に、「子育てワンストップサービス」では、地方公共団体の子育てに関するサービスの検索やオ

ンライン申請が行えます。

たとえば、保健所や幼稚園への入所等の申請が、自宅にいな

がら24時間パソコンやスマート

フォンによるオンライン申請が可

能です。

子育てや仕事が忙しく、役所

に出向く時間が取りづらい方、

遠方から転入される方にとって

は非常に便利なサービスとなっ

ていますので、是非活用してみて

はいかがでしょうか。



## 三期目に向けた「決意」と「お約束」

去る4月21日に行われました市議会議員選挙において、多くの皆様からの付託をいただき、三度、市政の場に送り出していただきました。

これまでの間、多くの皆様からお預かりしました「思い」や「お言葉」を市政に届け、施策への反映に取り組むとともに、皆さまにお約束をしました。「4つのテーマ」の実現に向けて全力で邁進してまいりますので、引き続きのご指導ご鞭撻、叱咤激励を賜りますよう宜しくお願い致します。

### 4つのテーマ

- ・子育てしやすい高松、子どもが健やかに成長できる高松
- ・誰もが安全・安心で健康に暮らせる高松
- ・充実した雇用の高松、若者から選ばれる高松
- ・活気にあふれ持続可能な高松

大西  
智

### マイナポータル

子育て手続の電子申請は  
ひつりサービス  
(サービス・フレイド)

マイナポータル 検索

政務活動費領收書等添付用紙

使途項目	3 - (1)	領収書総額	66,000円
使途内容	広報費 - 広報誌等印刷費	按 分 率	/
		政務活動費 支 出 額	66,000円
備 考			



## 政務活動費領収書等添付用紙

使途項目	3 一 (1)	領収書総額	30,140円
使途内容	広報費 - 広報誌等印刷費	按 分 率	/
		政務活動費 支 出 額	30,140円
備 考	<p>(領収書等貼付欄) 市政レポート&lt;第3回 9月定例会号&gt; 印刷料 10,000部</p>		

## 領収書



日付: 2019年11月20日  
領収書番号: R-1911150622

大西 智 様

ラクスル株式会社

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F  
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

**¥30,140-**

但し、商品代として  
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
1911150622-01	(大西さとし市政レポート第4回 9月定例会) チラシ・フライヤー,A4,両面カ ラー,光沢紙(コート),薄手; 73kg,折り加工: 外3つ折り	10,000部	2019年 11月20日	¥27,400

注文内容:	商品:	¥27,400
注文合計:		¥27,400
消費税:		¥2,740
ご請求合計金額:		¥30,140

お支払い方法: クレジットカード

## 政務活動費領収書等添付用紙

使途項目	3 — (2)	領収書総額	68,585円
使途内容	広報費 - 広報誌等送料	按 分 率	/
		政務活動費 支 出 額	68,585円
備 考	<p>(領収書等貼付欄)</p> <p>市政レポート&lt;第4回 9月定例会号&gt; 送料(ポスティング) 7,500部</p>		

## 領収書



日付: 2019年12月03日

領収書番号: R-1911150706

大西 智 様

ラクスル株式会社

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F  
tel: 03-4577-9200 mail: contact@raksul.com

**¥68,585-**

但し、商品代として  
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
1911150706-01	(大西さとし市政レポート第4回 9月定例会) チラシ・フライヤー,A4,両面力 率,光沢紙(コート),標準: 90kg,ボスティング (2019/12/03配布完了希望)	7,500部	2019年 12月3日	¥62,350

注文内容: 商品: ¥62,350

注文合計: ¥62,350

消費税: ¥6,235

ご請求合計金額: ¥68,585

お支払い方法: クレジットカード

# 大西さとし

「人」が輝き、  
「まち」が輝く  
「輝く創造都市、霞ヶ浦

TEL 090-5696-1730

●ホームページ <http://www.ohnishi-satoshi.jp>

21322



## 令和元年度 9月補正予算の概要

## I 政策課題に対応するための事業の実施（約1.0億円）

④当初予算編成後における  
情勢変化等への適切な対応

グループによる  
意見交換会の  
担当常任委員会  
およびテーマ  
・グループ会員常任

高松市議会は、9月4日から20日まで617回開会期に、令和元年第4回第4回(9月議会)を開催し、令和元年度一般会計予算など21議案を可決し、議員提出議案5件のうち5件を構成したほか、陳情1件を不採択とし、人事案件11件を回覧しました。

## II補助認証・制度の創設による 伴う事業の実施(約0.3億円)

卷之三

### 地元負担金の措置（約4.1億円）

(2) 小規模法人のネットワーク化による協働推進事業費  
社会福祉法人を始めとした複数の小規模法人による協働推進事業費

金華書院志

卷之三

## 高松市の未来を話そう！

高松第一高等学校生徒と高松市議会議員による意見交換会

高松市議会は10月4日(金)、市議会議員と高松第一高等学校生徒との意見交換会を開催しました。意見交換会は昨年に引き続き、更是、今年で3年目となります。

に議論を深めたいとの思いで2回（10月4日、11月18日）にわたり実施をし、生徒からの「住みやすく魅力ある高松市を目指す」ための意見や柔軟な発想を、これから高松市の発展に向けた政策提言に生かしていくことを目指しております。

(3)助成の指定企業に対する人材確保  
(4)企業説明会に基づく助成金の額  
(5)企業への訪問活動体制の強化

などがあり、これらの現状と課題を踏まえて、今後、進学・就職を控える高校生の目線からの率直な思いをもとに意見交換を行いました。

● グループ4・建設本道営任委員会  
テーマ「雨に強いまちをつくるためのソフト対策  
などがあり、これまでの取り組みと課題を踏まえて、今後、進学・就職を控える高校生の目線からの率直な思いをもとに意見交換を行いました。

A black and white photograph showing a man in a dark suit and tie standing at a podium, facing an audience. The audience is visible in the foreground as dark silhouettes. The background shows a plain wall and a window.

# 平成30年度 決算見込みの概要

## 行事・イベント参加

### 一般会計の概要

- 平成30年度の一般会計歳入決算総額は約11億円で、歳出決算総額は約157億円はで、歳入・歳出とも6年ぶりの減。  
(歳出は3年ぶりの50億円台)
- 歳入総額から歳出総額を差し引き、そこから翌年度へ繰り越す事業の財源を除くと約21億円。単年度収支は、約1億円の黒字。

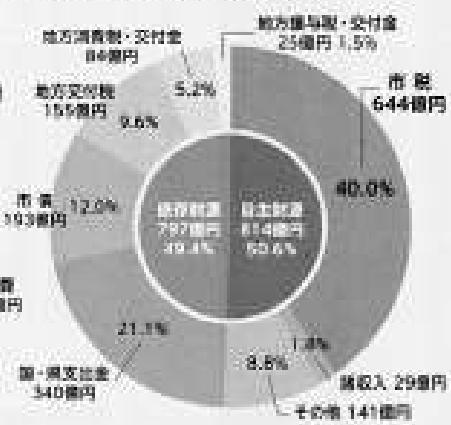
### 一般会計の特徴

- 決算規模は、歳入・歳出とも6年ぶりの減  
平成29年：歳入・約169億円  
歳出・約173億円
- 実質取支は、約21億円  
平成29年：約20億円  
平成28年：約38億円
- 單年度収支は、約1億円の黒字  
（3年ぶりの黒字）  
平成29年：▲約54億円  
平成28年：▲約8億円

■一般会計 岁出(歳出 1,577億円)



■一般会計 岁入(歳入 1,611億円)



### 特別会計の概要

- 鉄輪や介護保険事業など全9会計。全体で収入済額から支出済額を差し引き、そこから翌年度への繰越し財源を除くと実質収支は約14億円の黒字。
- 歳入：約11億円  
歳出：約10億円

平成30年度決算見込みにおいて、プライマリーバランスは3年ぶりの黒字となつたものの、市債残高の増加に加え、財政調整基金残高が100億円を下回るなど、厳しい財政運営となっています。高年齢者の増加などに伴う更なる財政需要の増加が見込まれるなか、将来にわたる持続可能な財政運営の確立には、事業の必要性・効率性等を精査することとともに、歳人の積極的な確保に努めています。



高松市 県令通性河川整備式



高松市ライオンズクラブ 小学校への貢献ベスト音頭



木太町 黒川駅あまから祭り



木太町 北部幼稚園 ふれあい運動会



木太町 第15回 グランドゴルフ大会



高松市川崎地区競輪会 2019年度 初開催



木太町 八幡神社秋大祭



JIAゼンセン杯JIA主催 第8回走幅跳会



香川県福祉施設女木島施設運動会



瀬戸内国際芸術祭2019 プランティア



## 大西智

この政策改正は、社会において旧姓を使用しながら活動する女性が増加している中、様々な活動の場面で旧姓を使用しやすくなるよう、との緊急の閣議決定を踏まえ行われたものです。

これにより、婚嫁等では「うん」に変更があった場合でも、既来称しててきた氏をマイナンバーカード等に併記し、公表することができるようになります。そのため、旧姓を契約など様々な場面で活用することや、就職や就学等での身分証明に資することなどがやややものと考えられています。

住民票・マイナンバーカード等への旧姓の併記が可能となります。

### Colum コラム



政務活動費領収書等添付用紙

使途項目	9 - (1)	領収書総額	66,000円
使途内容	広報費 - 広報誌等印刷費	按 分 単	/
		政務活動費 支 出 額	66,000円
備 考	<p>(領収書等貼付欄) 市政レポート&lt;第5回 12月定例会場&gt; デザイン料</p>		

5224								
<b>領 収 証</b>								
2020年3月5日								
<u>大西智殿</u>								
<table border="1" style="width: 100px; margin: auto;"> <tr> <td style="width: 10px; padding: 5px;">金額</td> <td style="width: 90px; padding: 5px; text-align: right;">¥ 66000 円</td> </tr> </table>	金額	¥ 66000 円						
金額	¥ 66000 円							
<table border="1" style="width: 100px; margin: auto;"> <tr> <td style="width: 10px; padding: 5px;">現金</td> <td style="width: 10px; padding: 5px;">小切手</td> <td style="width: 10px; padding: 5px;">振込</td> <td style="width: 10px; padding: 5px;">支票</td> </tr> <tr> <td colspan="4" style="padding: 5px;">銀行振込</td> </tr> </table>	現金	小切手	振込	支票	銀行振込			
現金	小切手	振込	支票					
銀行振込								
<u>ただし /2月定期会、市役所にて9割引代 上記金額正に領収いたしました。</u>								
 <b>四電ビジネス株式会社</b>								
□ 本店 〒780-8559 高松市丸の内2番5号 TEL:087-851-1151 □ 優姫支店 〒780-0012 松山市優町6丁目6番地2 TEL:089-941-3361 □ 徳島支店 〒770-0832 德島市寺島本町東2丁目29番地 TEL:088-622-9751 □ 高知支店 〒780-8570 高知市本町4丁目1番16号 TEL:088-875-9271								

## 政務活動費領収書等添付用紙

使途項目	3 - (1)	領収書総額	30,140円			
使途内容	広報費 - 広報誌等印刷費	按 分 率	/			
		政務活動費 支 出 額	30,140円			
備 考						
(領収書等貼付欄)						
市政レポート<第5回 12月定例会号> 印刷料 10,000部						

## 領収書



日付: 2020年2月23日  
領収書番号: R-2002171128

大西 智 様

ラクスル株式会社

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F  
tel: 03-4577-9200 mail: contact@rakusul.com

**¥30,140-**

但し、商品代として  
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
2002171128-01	(大西きとし市政レポート _201912 (入稿データ) ) チラシ・フライヤー,A4,両面力 ラー,光沢紙(コート),両手: 73kg,折り加工: 外3つ折り	10,000部	2020年 2月23日	¥27,400

注文内容:	商品:	¥27,400
注文合計:		¥27,400
消費税:		¥2,740
ご請求合計金額:		¥30,140

お支払い方法: クレジットカード

## 政務活動費領収書等添付用紙

使途項目	3 — (2)	領収書総額	65,219円			
使途内容	広報費 - 広報誌等送料	按 分 率	/			
		政務活動費 支 出 額	65,219円			
備 考						
(領収書等貼付欄)						
市政レポート<第5回 12月定例会号> 送料(ポスティング) 7,580部						

## 領収書



日付: 2020年3月04日

領収書番号: R-2002171180

大西 智 様

ラクスル株式会社

〒141-0021 東京都品川区上大崎2-24-9 アイケイビル 1F  
tel: 03-4577-9200 mail: contact@rakusul.com

**¥65,219-**

想し 商品代として  
上記金額を正に受領いたしました。

ご注文番号	商品名 / 商品仕様	部数	出荷日	金額
2002171180-01	チラシ・フライヤー,A4,両面カラーモード,光沢紙(コート),標準:90kg,ポスティング(2020/03/04配布完了希望)	7,580部	2020年3月4日	¥59,290

注文内容:	商品:	¥59,290
注文合計:		¥59,290
消費税:		¥5,929
ご請求合計金額:		¥65,219

お支払い方法: クレジットカード

# 大西さとし

## 市政レポート 第5回 12月定例会

「人」が輝き、  
「まち」が輝く  
「輝く創造都市、高松」

連絡先 T750-0080 高松市木太町1849-1-602  
TEL 090-8696-1730

●ホームページ <http://www.ohnishi-satoshi.jp>

●フェイスブック



Report  
報告1

高松市議会は、12月4日から19日までの16日間の日程で、令和元年 第5回定例会(12月議会)を開催し、平成30年度一般会計・特別会計・歳入・歳出決算など3件を認定したほか、令和元年度一般会計予算など16議案を可決し、議員提出議案5件を否決としたほか、陳情1件を不採択としました。  
また、私自身、本議会において代表質問を行い、市政全般、「政治姿勢」、「行政財政」、「まちづくり」、「防災」、「公契約」、「子育て支援」について行政の考え方を質しました。

### 12月定例会 質問および答弁の概要(抜粋)

#### 行財政

④ 来年度予算編成における財政健全化に向けた取組についての考え方。

⑤ 予算編成方針等で定める各般の取組を着実に実行していくことが重要。歳入では、市税収入の確保を図るため、将来的な税収増につながる新たな財源の確保に努める。歳出では、これまで以上に大幅な事務事業の見直しにより、真に必要で緊急度の高い事業に重点化をし、将来にわたり持続可能な財政運営に取り組む。

⑥ 自主財源検討委員会の中間取りまとめに対する受けとめと、今後どのように活用していくのか。

⑦ 本市の現在の財政状況や今後の見通し、さらには自主財源が、類似都市に比べ、相対的に低い水準である。一方で、本市が目指すべき都市像の実現に向けた取組を推進していく必要があることを勘案し、歳出改革の取組を前提としつつも、新たな自主財源の確保策が必要であり貴重な御意見であると受け止めている。

今後、委員会から頂く最終とりまとめと併せて、様々な観点から財源の確保に取り組む際の参考としていく。

⑧ 現行の「たかまつ創生総合戦略」の成果と課題は。

#### まちづくり

⑨ 本市の人口は、若干減少しているものの目標人口に向けた推計値に近い結果となつており、現戦略に基づく施策を総合的に展開してきた成果が表れていると受け止めている。

しかしながら、「人口の社会増」「用途地域内の人口比率」は更なる取り組みが必要であり、特に「社会増」は東京圏への二極集中に歯止めがかかつておらず、大幅な転出超過であることから、将来的な人口減少の加速化にもつながる重要な課題であると認識している。

⑩ 「関係人口」の創出・拡大における「サテライトキャンバス」講致に対する考え方。

⑪ 地元の香川大学では、芝浦工業大学と、相互に教育プログラムを提供して、それぞれの学生が対流するプロジェクトを県内各地で実施している。

さらに、今年度は、新たに津田塾大学や東京農業大学との連携にも取り組んでいると伺っており、これらのプログラムに参加する東京圏の学生は、本市とつながりをつくる「関係人口」となり得る人材である。

まずは、このような地元大学の取組を支援していくことから、サテライトキャンバスを誘致するまでの考えには至っていない

が、今後とも、地方への新たな人の流れをつくることができるよう、大学等との連携の中で、「関係人口」の創出・拡大に、積極的に取り組む。

#### 子育て支援

⑫ 幼児教育・保育の無償化の影響も踏まえた待機児童解消の見通しは。

⑬ 本年10月1日現在の待機児童は195人となり、依然として受け皿が不足する状況であるが、来年度末までに146人の定員を新たに確保できる見込みである。

また、次期「高松市子ども・子育て支援推進計画」の策定に向け、子育て世代を対象に、幼児教育・保育の無償化に伴う保護者の意向も含めたニーズ調査を実施し、その結果に基づき、計画期間の量の見込みと確保対策を取りまとめた。

なお、受け皿不足が見込まれる場合に整備に努めるとともに、保育士の確保に向けては、引き続き本市独自の緊急対策事業等に取り組み、目標である令和2年度での待機児童解消に取り組む。



# 経済環境常任委員会 所管事務調査 「戦略的な企業立地推進による地域経済の活性化について」

今年度、私の所轄する経済環境常任委員会では、人口減少、少子超高齢社会が到来する中、企業誘致専門員や企業誘致助成制度等のさらなる活用を図り、企業情報の収集や発信に努め、雇用の確保を図るとともに、移住者等の雇用や起業支援、さらには、外国人を含めた人材確保策や将来的な税収増にもつながる、本市ならではの「戦略的な企業立地推進による地域経済の活性化」について、調査・研究する必要がある」とから、当該テーマについて、調査研究を重ね、以下のとおり取りまとめを行いました。

## I 企業誘致助成制度の充実について

地元定着率の低い理工系学部の卒業生や、求職者数が求人数を大幅に上回っている一般事務員の雇用先を確保するため、試験研究機関及びオフィス系企業の誘致促進につながるよう、施設・設備投資や雇用に対する優遇制度を充実・強化することともに、誘致・立地企業に対する人材確保策を講ずること。

## II 首都圏からの企業を誘致する取り組みについて

若者が就職時に本市に戻ってきてられる働く場の確保に向け、若い世代が魅力を感じるIT系企業を誘致するため、首都圏で活動する本市出身者や関係者のネットワークを活用するとともに、首都圏への職員訴えを積極的に推進し、より効果的な取り組みを行うこと。

## III 民間企業と連携した取り組みについて

さらなる企業立地を推進するため、県や地元金融機関などの連携に努めるとともに、企業誘致専門員のネットワークを活

用し、経営コンサルタント業・不動産業及び建設業等が持つ情報やノウハウを取り入れなど、民間企業と連携したペーパード感ある取り組みを導入すること。

## IV 立地企業へのサポートについて

企業において工場等の新增設など、新たな投資情報がある場合は、用地や優遇制度の情報を提供することはもとより、用途制限や環境保全等のさまざまな課題について、関係部署と連携を図り、迅速かつ的確なサポートに努める」と。

## V 組織体制の見直しについて

企業誘致・立地は自主財源の確保に加え、若者の働く場の確保や定着にもつながる重要な施策であることから、職員を増員するとともに、現在の課内室から課に昇格して積極的かつ集中的に取り組むこと。

## 行事・イベント参加



## Colum コラム



観光地としての「高松」が世界から選ばれました

昨年開催された、第4回となる瀬戸内国際芸術祭は、国内でもとより海外から多くの方が訪れ、来場者数が17万人となり前回の14万人を大幅に超えるなど、大いに盛り上がった芸術祭となりました。

また、既に浜田知事がひまわり2021年に第5回となる瀬戸内国際芸術祭は、開催するとの意向が表明されています。

そのような中、芸術祭の効果もあり、世界最大規模の旅行予約サイト「ロコロコ」の「スマッキングドットコム」が発表しました2021年に行われるべき国際地トップ10に、「日本で唯一の高松」が選ばれました。

また、世界中で利用されている旅行比較サイト「トリップアドバイザー」(Tripadvisor)において、注目すべき新興目的地のトップ10に、「日本で唯一の高松」が選ばれています。

人口減少、少子超高齢化が進むなか、「活力にあふれ創造性豊かな瀬戸の郷、高松」を実現するため、更なる活性化に取り組んでまいります。

**大西智**

## 政務活動費領収書等添付用紙

使途項目	3 — (5)	領収書総額	93,500円
使途内容	広報費 — その他の費用	按 分 率	4 / 12
		政務活動費 支 出 額	31,166円
備 考	ホームページ「大西さとしオフィシャルサイト」 Webサーバ共用レンタルサービス代		

(領収書等貼付欄)

12ヶ月分(2019年12月1日～2020年11月30日)のため4ヶ月／12ヶ月を計上  
 93,500円／12ヶ月 × 4ヶ月 = 31,166円(端数切捨て)

「大西さとしオフィシャルサイト」

URL <http://www.ohnishi-satoshi.jp/profile.html>

### 領 取 証

No. 207-001

大西 勝 様

★ ￥31,166

西日本新聞社に掲載された際に支拂った料金

2020年 2月 7日 上記証にて領取いたしました

内 款

報酬会社

消費税等

香川県高松市尾高西町1850-1

西日本新聞社合併研究会

株式会社よんでもんメディアワークス

代表取締役 中川政彦

支拂 20000

政務活動費領収書等添付用紙

便途項目	3 - (5)	領収書総額	22,000円
便途内容	広報費 - その他の費用	按 分 率	/
		政務活動費 支 出 額	22,000円
備 考	ホームページ「大西さとしオフィシャルサイト」 ページ制作料 (領収書等貼付欄)		

領 収 証

No. 0014-001

大西 智 様

★ ￥22,000-

但 ち御用紙ペーパー製作料にて(税込22,000円)

2016年 2月 10日 上記正に確認いたしました

内 観

現金支取 12,000

消費税額等(0.00) 1,000

香川県高松市瓦鳥町1850-1

四国地方開発会議事所

株式会社よんでんメディアワークス

代表取締役 中川 政彦

セフコ 99-77



政務活動費領収書等添付用紙

使途項目	3 — (5)	領収書總額	261,030円
使途内容	広報費 - その他の費用	接 分 額	/
		政務活動費 支 出 額	261,030円
備 考	ホームページ「大西さとしオフィシャルサイト」 Webレスポンス対応料(スマートフォン対応) (領収書等貼付欄)		

領 収 証

年月日: 2017.10.30

大 西 駿 様

\* 年 月 日

お問い合わせ用印(印鑑)に記載して下さい(個人の方)

2017年10月30日 上記に領収いたしました

内 説

料金合計 261,030円  
消費税等 0円

香川県高松市尾山町1850-1

四国地方合同会社

株式会社よんてんメディアワークス

代表取締役 中 川 政 彦



セイヨウ カンパニー

### 政務活動費領収書等添付用紙

使途項目	8 — (2)	領収書種類	65,400円
使途内容	資料等購入費	按 分 率	/
		政務活動費 支 出 額	65,400円
備 考	新聞「四国新聞 BUSINESS LIVE」 5,400円×6ヶ月 + 5,500円×6ヶ月 = 65,400円を購入		
(領収書等貼付欄)			

〒760-0080  
香川県高松市本郷町1849-1  
プレジールマンション11-602

大西 智様

## 領 収 書

発行日 2020年 3月 31日  
領収書No. 202003\_01

大西 智

書中

株式会社四国新聞社  
メディア室メディア部編集部  
〒760-0572

下記、正に領収いたしました。

合計金額（税込）

¥ 65,400-

tel. 087-833-1127  
fax. 087-833-2223

但し、クレジットカード利用

摘要	数量	単位	単価	金額（税込）
ビジネスライフル用料 2019年4月ご利用分	1	月	5,000	5,400
ビジネスライフル用料 2019年5月ご利用分	1	月	5,000	5,400
ビジネスライフル用料 2019年6月ご利用分	1	月	5,000	5,400
ビジネスライフル用料 2019年7月ご利用分	1	月	5,000	5,400
ビジネスライフル用料 2019年8月ご利用分	1	月	5,000	5,400
ビジネスライフル用料 2019年9月ご利用分	1	月	5,000	5,400
ビジネスライフル用料 2019年10月ご利用分	1	月	5,000	5,500
ビジネスライフル用料 2019年11月ご利用分	1	月	5,000	5,500
ビジネスライフル用料 2019年12月ご利用分	1	月	5,000	5,500
ビジネスライフル用料 2020年1月ご利用分	1	月	5,000	5,500
ビジネスライフル用料 2020年2月ご利用分	1	月	5,000	5,500
ビジネスライフル用料 2020年3月ご利用分	1	月	5,000	5,500
合計				65,400

備考：

政務活動費領収書等添付用紙

使途項目	8 — (1)	領収書総額	3,960円
使途内容	新聞購読料	按 分 率	/
		政務活動費 支 出 額	3,960円
備 考	新聞「婦人しんぶん」H31年4月～H31年3月分 3,960円を購入		

(領収書等貼付欄)

平和と平等をめざして 婦人しんぶん

領 収 証 No.

大 三 様

3,960-

上記の金額を領収致しました

内訳

購入した物	金額	備考
婦人しんぶん	3,960-	

日本婦人会議

(女性会議香川県本部)

高松市船町3丁目11番5号